



【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	青梅市家庭教育支援チーム (呼称 : 子どもと文化の NPO 子ども劇場西多摩) URL: http://gekijo.net/
②活動拠点	青梅市
③活動範囲	東京都西多摩地区全域 長野県(子どもキャンプ)
④組織体制	29 人 (理事) 教員 1 名 民生委員 3 名 保育士 3 名 アーティスト 2 名 臨床心理士 1 名 青年層 2 名他
⑤活動開始年度	1974 年度 (昭和 49 年度)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 事務局 川崎 由保 (TEL) 0428-24-8981 (E-mail) nishitama@gekijo.net

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">L</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> その他(身近な地域で親子で参加できる活動を開催)
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>■ 舞台芸術鑑賞</p> <p>身近な会場で親子で楽しめる舞台鑑賞活動を年 20 作品以上開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

■自然体験

仲間と力を合わせて、生きる力を育む自然体験を実施
親子 DE キャンプ 子どもキャンプ 8月に1回実施



地域資源となる多摩川でのラフティングを8月に1回実施



■学習会の開催

子育てや子どもの成長について学ぶ場として学習会を年3回開催



■親子で参加できるワークショップの開催

親子で参加できるワークショップは、年10回実施



■子どもの居場所づくり、子ども食堂の開催

子どもたちへの居場所と食事支援のため、火曜日と木曜日に年96回実施
子どもフリーカフェ(子ども無料)は、年間通じて実施(240日実施)



火曜日と木曜日は 17時から 19時まで、小学生から高校生までを対象に実施

昼間の無料カフェは、10時から 17時で、親子での参加や放課後の高学年の子どもたちが参加しています

■身近な地域で親子で参加できる会の開催

青梅地域で時期に合わせて、随時実施



地域の団体や行政との協働が進んでいます

■コミュニティカフェの運営をしています

子どもから大人までが気楽に楽しく集えるカフェとして月曜日定休で、10時から 17時まで営業しています



幼児をもつ親子でも気軽に立ち寄れる、コミュニティーカフェでは、カフェの他にコンサートや講座、子どもの居場所づくり、子ども食堂を実施する場所になっています

④活動の成果
(活動実績がある場合)

子ども時代に他者と一緒に文化芸術や遊びふれることで、豊かな感性やコミュニケーション力を育むこととなります。親子にとっても、他者との比較や経済的困難、子育ての孤立など課題はあります。そんな中で、安心できる場や活動に参加して、明日を生きる力、共に歩む力を育んでいます。他団体との連携を大事にしてネットワークも広がり、情報交換などを行えるようになった。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(社会福祉振興助成事業 子どもゆめ基金事業)